

共にしあわせ産みだす党 日本共産党 市議団ニュース

第2102号 2024年05月19日
日本共産党 根室市議団
根室市宝林町4-203 TEL0153-23-6023

旧庁舎での業務が最終日だった5月2日夕方。
連日、市職員の皆さんは日常業務と並行して引っ越し
作業に追われていました。



新庁舎での初議会が行われました 国保税減免の対象世帯を拡充する条例改正

翌週は新しい議場で初の緊急議会が行われ、国保税の制度改正で5割減免・2割減免の対象となる世帯が拡充されました。
なお、壁など全面的に木材を多用した新議場ですが段差を無くし、コンパクトな作りです。傍聴席も数は減りましたがゆとりあるスペースに。車イス対応席や聞こえにくい方にイヤホンジャックもあります。
新庁舎はエレベーターがありますので、議会の傍聴にお越しください。



開庁式で石垣市長は歴代の根室町(市)庁舎を振り返りながら「この庁舎を核として50年、100年後の子ども達が未来を語り合う場になり、先人がのろしをあげた北方領土返還要求運動の『すいてん』の役割を担えれば」と決意を語りました。

5月7日、根室市役所の新庁舎開庁式が朝の始業開始前に関係者の出席のもと行われ、新庁舎の業務がスタート。5月13日には新庁舎で初めての「緊急議会」が行われ、国保税が減免される対象世帯を拡充する条例改正を可決しました。

入学までにかかった費用

大学納付金以外にも多額の出費があり、保護者の負担は大きいことがうかがえます。

	自宅生	下宿生
出願をするためにかった費用	137,600	126,100
受験宿泊など受験のための費用	51,700	100,700
入学した大学への納付金	748,200	679,600
入学しなかった大学への納付金	269,700	266,300
合格発表や入学手続きのための費用	12,700	50,000
入学式出席のための費用	11,700	40,500
教科書・教材購入費用	217,200	250,400
お部屋探しの費用	-	240,400
生活用品購入費用	86,100	305,800
その他の費用	120,900	336,800
合計	1,536,000	2,135,100
後期納付予定金額	438,600	352,800

国立大学の授業料を大幅に値上げする？

いきなり個人的な話で恐縮ですが、子どもの進学で『根室市奨学資金貸付』を申請したらきっぱりと却下され、やっぱダメか〜と心の中で泣いてたところでした。

いや、そんな話は別にどうでも良いのですが...

なんと今年3月、慶応大学の伊藤公平塾長という方が「現在53万5800円の国立大学の学費を年150万円に値上げする」提言を文科省の会議で行った、というニュースを見て愕然としました。

全国大学生活協同組合連合会の調査では『入学するまでにかかった費用』は、平均213万円と大きな負担です(下宿生の場合。上図は昨年の調査結果から引用)。さらに生活費や今後の授業料、教材費など合わせると4年間でとてつもない金額になります。

世間の学生さんと保護者の皆さんがいかに大変な苦労をしてきたのか、つくづく実感しています。

日本学生支援機構によると大学生(昼間部)のうち奨学金の利用者は約半数に上ります。そのうち給付型奨学金は非課税世帯など極一部に過ぎず、大部分の学生は利子付きの「借金」返済を多額に抱えて、新社会人としての生活をスタートします。

各地の自治体では就職後に企業と連携して奨学金返済を支援する仕組みを作り、根室市でも2023年度から開始しました。しかし利用者数はまだ少ない状況です。

こうした中で学費の大幅な値上げが本当に行われたら、「とても子どもなんて育てられない」という方が、全国でさらに増えてしまうのではないかと心配です。

※「すいてん」って何だろう？ 広辞苑にも載っていないし、と気になってたら、翌日の道新で「萃点」と表記されていました。インターネットでは《「萃」は、あつまるの意》さまざまな物や事柄があつまるところ、とのこと。明治か大正の有名な学者さんの造語らしいですが、はじめて知りました。みなさん博識ですね。

内部の様子。ビニールで窓を保護するなど切実な努力が



和田屯田記念館
和田屯田兵村の被服庫
今年度は設計、来年度以降に改修工事を想定

根室市は今年度、和田屯田記念館の改修工事に向けた実施設計を予算計上しています。4月24日に鈴木議員、須崎議員(会派紬)と一緒に見学してきました。「被服庫」の概要は市教育委員会のYouTubeをご覧ください。すごく分かりやすい良い動画です。なお、以前は「現存する唯一の」被服庫としていましたが、他地域にも現存する可能性から今は「数少ない」との表現になっているそうです。

明治18年頃らしいので約140年。もはや老朽化どころか逆にこの建物が厳しい風雪によく今まで耐えたねと感激します。保存会など地元の方々や市教委の努力の賜物でしょう。

改修工事には多額の予算が必要かもしれませんが、根室は現存する歴史的建造物が少ないので何とか、とあらためて思いました。

2024年 原水爆禁止国民平和行進

根室コース出発式

5月6日、原水爆禁止国民平和行進「根室コース」出発式が行われ、各団体から16名が参加しました。今回の通し平和行進者は静岡県の小林和江さんと愛知県の松下彰宏さんです。20年も平和行進を続けている小林さんは被爆者が作った折り鶴をたくさん帽子に縫い付け、「核兵器はいらない、戦争はダメ、憲法9条を守ろう」という被爆者の心も一緒に届けたいとあいさつ。
納沙布岬での出発式のあと市街地を行進して「核兵器のない世界を」と道行く市民らに呼びかけました。

